

65期JRA同好会H28年例会
6月19日、於府中競馬場

神宮 進 (10組)

JRA 同好会会長の丸山暢久さん(4組)の仰せで(遅刻の罰か?)観戦記を書かせていただきます。

世に蔓延る病はいろいろありますが、馬券を買い続けるのは立派なギャンブル中毒という病気だと思います。思えば子どもの頃は貰ったお年玉を花札勝負で親から巻き上げられ、その後はビー玉、メンコでガチンコ勝負、大学で上京してからはパチンコ、麻雀、行き着いたところが競馬です。まあこの後は、競輪、オート、競艇などを経てカジノ、株式投資、鉄火場通い、最後は選挙なんて話も聞いています。わたしは取りあえず馬券に留まっていますが、買い続けてそろそろ45年です。まあそれぞれの病歴を抱えながら、6月19日の競馬日より(雪でも降らない限りいつでも競馬日より)10数名の患者が府中競馬場の特等席(ダービールーム)13号室に集合しました。

当日は3場開催、36レース。皆、思い思いの席を占め、各自、各自の予想方を駆使しながら、ビール、ウィスキー・焼酎の水割りのをのみつつ、多種多様な食べ物をいただきつつ、馬券を買い続け、5~20数レースに参加、約6時間、有意義な時を過ごしました。闘病の様様につきましては、自分の結果を公表することなどないので皆目わかりませんが、皆それぞれ、余り大きな声も出さず、特に深刻そうな人もいず、レース結果も穏やかでしたから、ソコソコだったと思います。

御参考までに柏木集保名誉会長(4組)は東京のメインレースを本命・対抗でズバリだったようです。また、わたしの隣にいた、牧野泰晴さん(1組)は現在、悠々自適、競馬専門のグリーンチャンネルに加入し、完全なる競馬中心の日々を過ごしているそうで羨ましい限り、当日は結果も宜しく、水割りがすすんでいました。

次の例会は何時になるのか、この病は生涯の業病、身体が空いている限りは参加することと思います。

(2016年6月28日記)

次ページに写真



後列左より 柏木、、、、、、、神宮、牧野、塩川、、、浅倉、
前列左より 、、、成澤、丸山



大野、浅倉、丸山



塩川、、神宮



浅倉、塩川、、神宮、手前に牧野